

ニカラグア定期報告（2019年9月）

【要旨】

外交面では、モンカダ外相が中東、アフリカ及びアジアを外遊し、NYでの国連総会に参加した。またOASのニカラグア委員会はオルテガ大統領に入国を拒否された。経済面では、金融分析ユニット関連法改革が可決された。

【主な出来事】

1 内政・外交

(1) ニカラグア国軍設立40周年記念式典

2日、マナグア市内にて開催された国軍設立40周年記念式典において、国軍トップであるフリオ・セサル・アビレス国軍司令官が演説し、「クーデターには荷担しない」などの言葉を用いてニカラグア政府に寄り添う発言をしたことが当地報道でプレイアップされた。3日には、国軍設立を祝うパレードが盛大に行われ、オルテガ大統領、ムリージョ副大統領、アビレス国軍司令官らが参列した。

(2) 国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）によるニカラグア人権侵害状況報告書提出

10日、ジュネーブにて開催された国連人権理事会第42回定期会合にて、OHCHRは、2019年2月に交渉が再開して以来、生命と人身の保全を脅かす暴力沙汰の件数は減ったとしながらも、ニカラグアにおいて当国における騒動勃発から17ヶ月経った現在も同国民への人権侵害が続いているとする調書を提出した。これに対し、ジェンスケ大臣は、ニカラグア政府として今次OHCHR報告書は方法論の観点から疑義が残るとして拒絶する旨述べた。

(3) OASニカラグア委員会の入国禁止措置

14日、オルテガ大統領は、当国出入国管理局発出の回章を以て、OASニカラグア委員会構成メンバーの当国行き航空機への搭乗及び入国を許可しない旨、書面にて通達した。市民同盟、青と白の国民連合（UNAB）をはじめとする反政府組織やOASなどの国際組織はこれを批判するプレスリリース等を発出した。15日には、今次オルテガ大統領の決定に対する抗議のため、マナグア大聖堂でのミサの後同敷地内にてフラッシュ・デモが実施された。

(4) 対OASニカラグア大使交替人事

16日、ムリージョ副大統領は、記者会見の場において、ルース・タピア（Ruth Tapia）元国防省官房長（Secretaria General）（直近駐フランス大使）を対OASニカラグア大使として任命する旨発表した。

(5) モンカダ外相他の外遊

モンカダ外相他はエジプト、カタール、ベトナム、南アフリカ、赤道ギニア、ウガンダ及びジンバブエへの外遊を実施した。赤道ギニアとは以下の二国間合意に署名した。

- ア 経済・商業・文化・科学・技術分野における協力枠組み協定
- イ 外交協議に関する覚書
- ウ ニカラグアと赤道ギニアの合同委員会に関する取り決め

(6) 新たな外交関係樹立

ニカラグア政府は以下の新たな外交関係を樹立した。

- コモロ連合 9月18日
- エスワティニ王国 9月17日
- モナコ公国 9月4日
- ニジェール 8月8日
- ケニア 7月30日

(7) 一帯一路政策に基づく経済成長と協力セミナー

27日付政府プレスリリース及び政府系広報サイト「EL 19」は、北京において実施された「一帯一路政策に基づく経済成長と協力」セミナーへのニカラグアの参加を報じた。

(8) モンカダ外相の国連総会参加

ア 9月27日、国連総会の機会にモンカダ外相は以下の二国間会談を実施した。

- マウラー赤十字国際委員会総裁
- アンネン独外務副大臣
- アイマン・サファディ・ヨルダン外務・移民大臣
- ザリーフ・イラン外相
- гент・チャカイ・アルバニア欧州・外務大臣代行
- モハメッド・サレク・サハラ・アラブ民主共和国(SADR)外相

またモンカダ外相及びオキスト国家政策担当大統領補佐官が中国の王毅外相と通訳を入れて立ち話しをした。

イ 28日、モンカダ外務大臣は、第74回国連総会にて一般討論演説を行い、途上国の自由な自己決定と政治的独立の権利が損なわれているとして、大国の内政干渉を非難した。

(9) 小規模爆発事案の発生

ア 21日夜、チナンデガ県、マサヤ県、マナグア県の住民が、爆発音を聞いた旨報告した。
22日、反政府団体ニカラグア愛国同盟APN (Alianza Patriótica nicaraguense)

は掲載したフェイスブックにおいて、国内各地で発生した小爆発事案を示唆する「軍事的な性質を有する一連の行動を21日から全国的に開始した。これらの軍事行動は、現政権の独裁が崩壊するまで行う」旨の声明を掲出した。

イ 26日、マサヤ県モンボ市所在のサレシアノ・ドン・ボスコ校のサッカー場（Pedro Joaquin Chamoro 広場前）において、生徒がその場にあったビニール袋の中身を確認せずに投げたところ、爆発した。検証班が調査の結果、確認したところ、爆発物のような装置を確認した。

（10）米国籍女性殺害事件

29日、マタガルパ県の中心地であるエル・プログレコにおいて、米国籍の女性が私警団の男らに襲われ、拳銃で頭を撃ち打ち抜かれて殺害された。

ア 右事件について国家警察は、被疑者(Juan Pablo Ortiz Gonzalez)は、殺人脅迫罪の犯歴を有する者で、本件の動機につき個人的ないさかいによる口論から発砲、殺害に至ったと発表した。

イ しかし、被害者の夫は、「犯人は複数の男女で、私はそのうちの一人に「バリケード野郎、司令官(オルテガ大統領)は権力の座から退かない。俺たちはおまえを殺す」など罵声を浴びせられながら、拳銃で殴り倒され、助けに入った妻らとともに車に乗り込もうとしたところ、妻が至近距離から撃たれた」とし、更に「被疑者の顔は知っているが、何ら関係もないし、議論をしたこともない」と証言している。

（11）世論調査結果

世論調査会社M&R Consultores 社（与党寄りとされる）が実施した世論調査結果の概要以下のとおり。なお、3日付ボルサ・デ・ノティシアス紙は、チャモロ経済社会開発財団（FUNIDES）代表が、同調査結果に関して、「人々は自由に意見を表明することに不安を感じており、弾圧を恐れるが故の調査結果である。」とコメントした旨伝えている。

ア フェイクニュース若しくは事実を歪曲した報道の頻度

なし： 16.2%
幾分感じられる： 22.6%
頻繁に感じられる： 61.2%

イ フェイクニュースがニカラグア社会の問題になっているか

なっている： 90.9%
なっていない： 7.5%
分からない・無回答： 1.6%

ウ 過去12ヶ月間で何らかのフェイクニュースに触れたか

いいえ： 66.8%

はい： 33.2%

エ 現在当国が抱える主要な問題点

○経済：71.0%（失業：31.7%，物価高：30.2%，貧困：6.6%，投資不足：2.5%）

○政治：20.6%（政治問題：18.3%，汚職：2.3%）

○治安：3.5%（犯罪：3.5%）

○社会：2.4%（価値観の危機：1.6%，保健医療：0.8%）

オ 家庭の経済状況（1年前との比較）

良くなった： 18.1%

変わらない： 32.6%

悪くなった： 49.4%

カ 6年前との比較で当国は発展したか

した： 57.8%

変わらない： 8.9%

後退した： 32.0%

分からない・無回答： 1.3%

キ 過去40年ほどの間でニカラグアの経済・社会情勢が良かったのはどの時代か

2007年～現在： 44.3%

2000年～2006年： 14.3%

1990年～1999年： 11.9%

1980年～1989年： 6.0%

1970年～1979年： 14.7%

ク 国家警察の働きぶりへの評価

とても良い： 14.7%

良い： 19.6%

普通： 21.4%

悪い： 13.4%

とても悪い： 29.1%

分からない・無回答： 1.8%

ケ 支持政党

F S L N : 37.5%
野党 : 3.1%
無党派 : 59.4%

コ 次期総選挙において投票するか

絶対に投票する : 53.5%
たぶん投票する : 17.3%
たぶん投票しない : 6.1%
絶対に投票しない : 16.4%
分からない・無回答 : 6.8%

サ 本日総選挙が開催されるとしたら F S L N に投票するか

投票する : 36.9%
投票を考慮する : 16.5%
現在は選択肢に無い : 7.1%
如何なる状況にあらうと投票しない : 16.3%
分からない : 23.1%

シ 本日総選挙が開催されるとしたら野党若しくは反政府グループに投票するか

投票する : 6.8%
投票を考慮する : 9.1%
現在は選択肢に無い : 13.2%
如何なる状況にあらうと投票しない : 38.3%
分からない : 32.6%

ス 当国のためにより良い選択肢は以下のいずれか

F S L N 政府 : 52.9%
野党政府 : 13.3%
いずれでもない : 11.8%
分からない・無回答 : 22.0%

セ 総選挙を想定した場合、自身に雇用の機会を与えてくれるのは

F S L N : 52.3%
野党 : 16.6%

いずれでもない：31.1%

2 経済

(1) 金融分析ユニット関連法改革

5日付当地各紙は、国会が、弁護士及び公証人に対して組織犯罪等への関与が疑われるクライアントの情報を当局に通報することを義務化する、金融分析ユニット（UAF）法改革法案を可決した旨報じた（賛成：72票（うちFSLN70票）、反対：16票、棄権：2票）。同法改正の発効により、当国の弁護士及び公証人は、通常であれば依頼人であるクライアントについて守秘義務が発生する事案に関し、組織犯罪への関与が疑われる怪しい取引がある場合、UAFに対して右情報を開示する義務が発生する。

<主要経済指標>

	2017年	2018年	2019年		
			7月	8月	9月
インフレ率（対前年同月）	4.12%	5.1%	5.6%	6.1%	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲3,049.5	▲2,312.4	未発表	未発表	未発表
輸出FOB（百万ドル）	2,548.3	2,516.9	未発表	未発表	未発表
輸入FOB（百万ドル）	5,597.8	4,829.4	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,390.8	1,501.2	未発表	未発表	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,757.8	2,261.1	2,183.9	未発表	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）